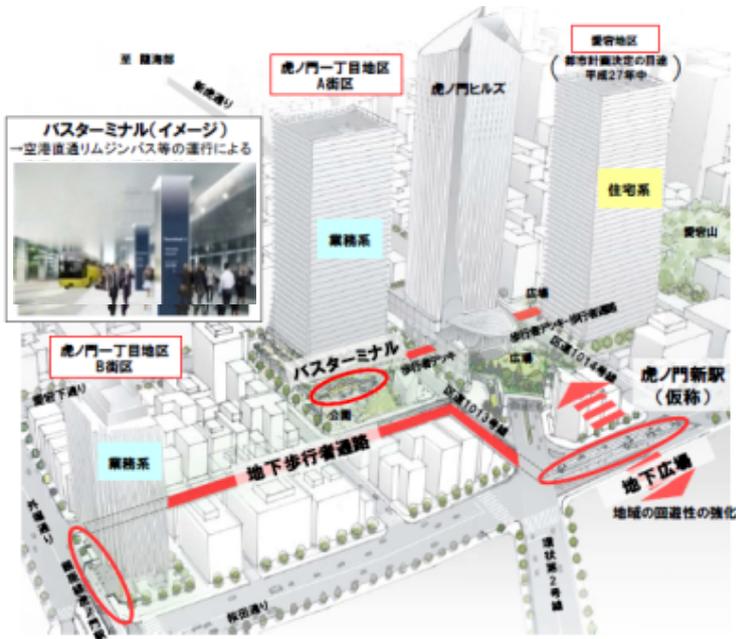


# 駅と一体となったまちづくり

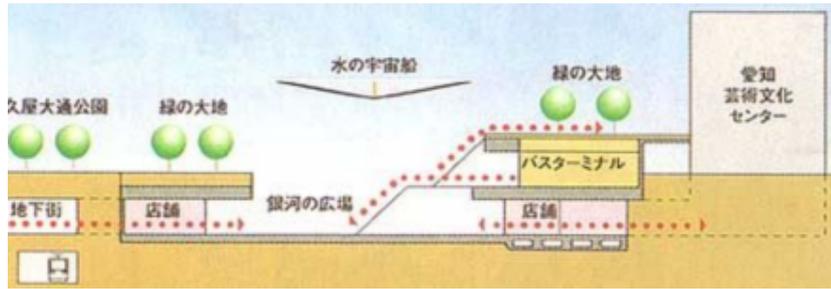
- 都市開発に合わせた駅施設の改良やバスターミナルの整備など、駅と一体となったまちづくりの取組が始められている。
- 駅利用者数の規模や周辺の土地利用、交通状況を考慮しながら、周辺の都市づくりに合わせた駅の「顔づくり」を展開していくことが重要である。

都市開発に合わせたバスターミナルの整備 (港区)

交通結節点のイメージ (名古屋市栄公園オアシス21など)



出典：内閣府地方創生推進室 第4回東京圏国家戦略特別区域会議資料4 (東京都提出資料) (平成27年6月/東京都)



出典：まち再生事例データベース (国土交通省)



出典：なごやまちづくりガイドマップ (名古屋市)

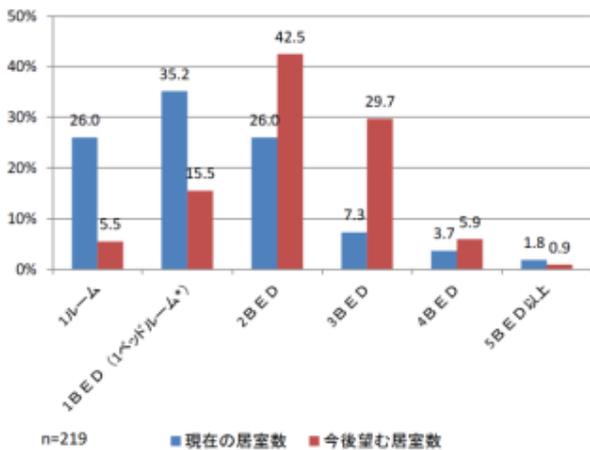


駅前に設置されたシェアサイクルポート (ロンドン)

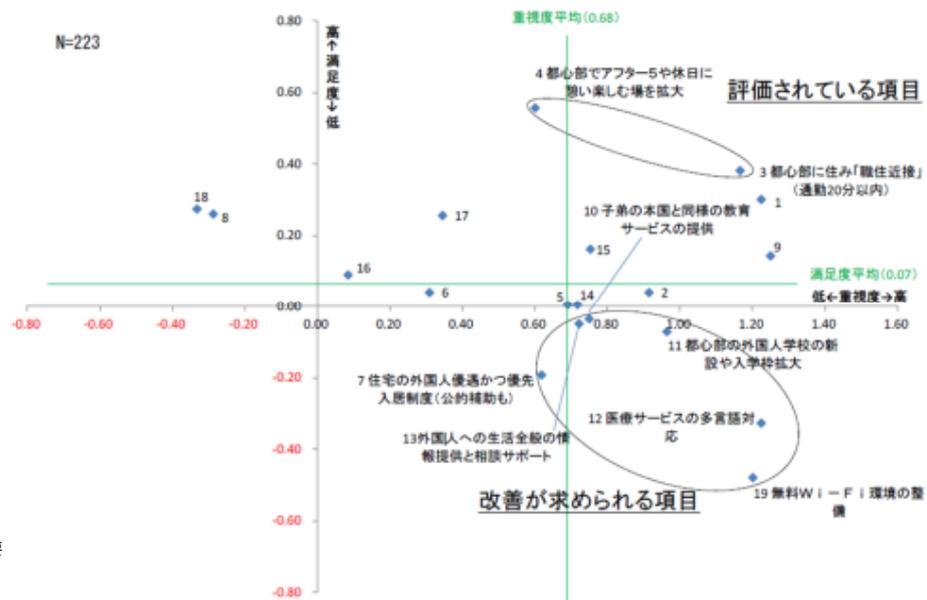
# 外国人ビジネスパーソンの居住ニーズ

- 外国人ビジネスパーソンからは、医療サービスの多言語対応や住宅の居室数などについて改善が求められている。

外国人ビジネスパーソンの住宅の居室数の現状と今後の要望



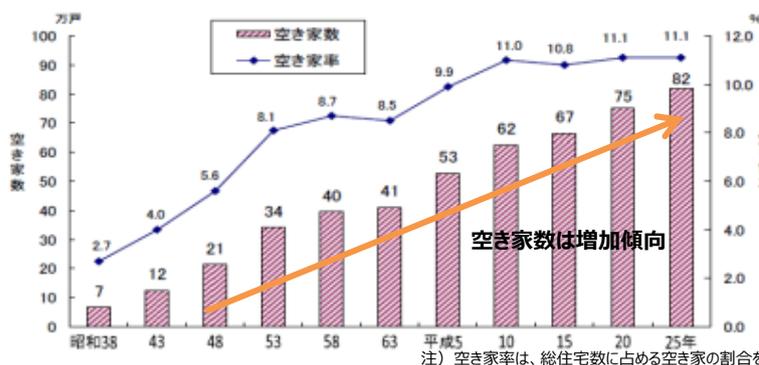
日本での生活における外国人ビジネスパーソンのニーズや課題



# 空き家・公的不動産等について

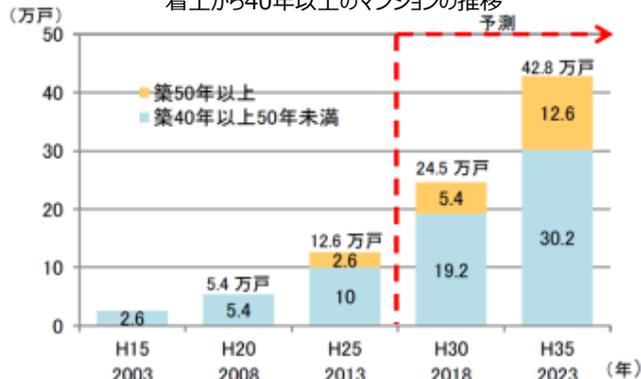
- 都内の空き家率は、約11%であり平成10年からほぼ横ばいとなっているが、空き家数は5年前と比べ、約7万戸増加し、約82万戸となっている。
- 建物の高経年化も進行しており、着工から40年以上経過したマンションの急増が見込まれている。

東京都の空き家数及び空き家率の推移



出典：「住宅・土地統計調査」(平成25年/総務省)から東京都作成

着工から40年以上のマンションの推移



出典：「住宅・土地統計調査」(総務省)「住宅着工統計」(東京都) から東京都作成

区市町村別空き家率



出典：住宅政策をめぐる状況【資料集】(平成27年8月/東京都)

# 商店街の状況

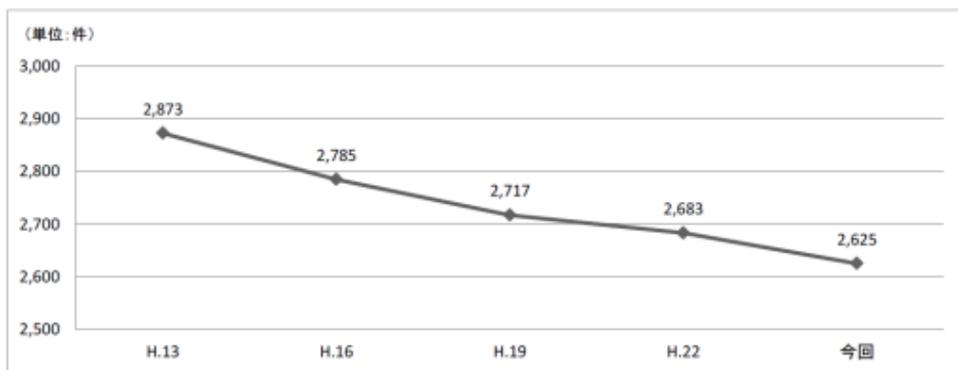
- 都内の商店街数は減少傾向が続いており、都市づくりの観点からも商店街の活性化に向けて取り組んでいくことが重要である。
- 商店街の平均店舗数も減少しており、それに対する対応を進めることも重要である。

にぎわいのある商店街  
(豊島区 巣鴨地蔵通商店街)

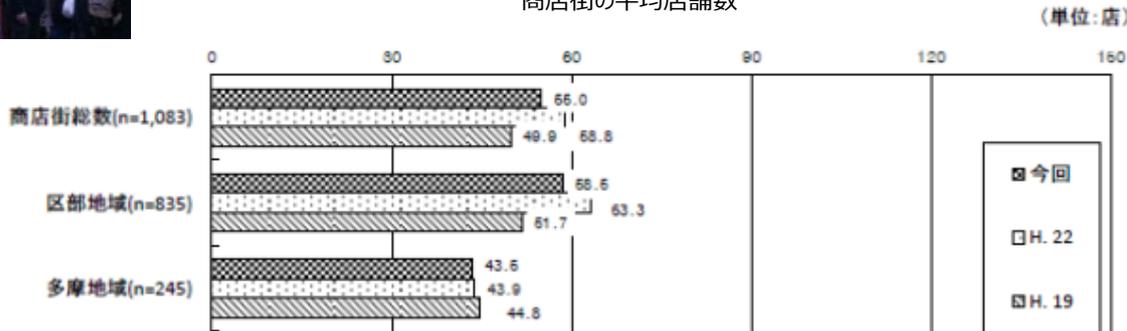


出典：「商店街の取り組み60事例  
(関東甲信越静地域)」(関東経済産業局)

都内の商店街数の推移



商店街の平均店舗数

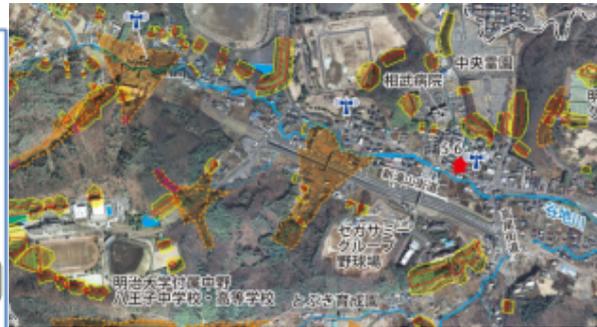
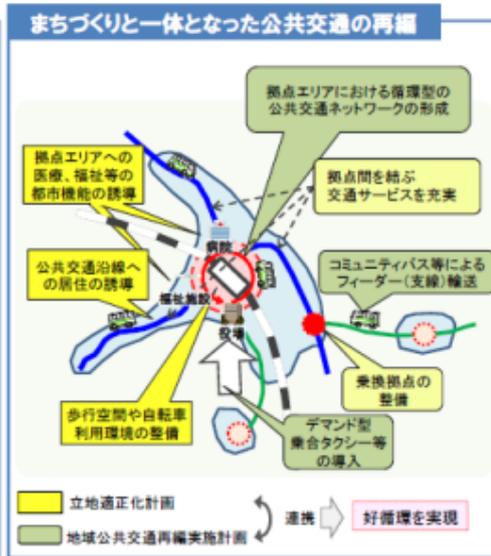


# 集約型地域構造への再編

- ・ 少子高齢・人口減少社会が到来する中、国においては、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画制度が平成26年度に創設された。
- ・ 集約型地域構造への再編に当たっては、駅周辺などの拠点エリアへ都市機能を集約し、拠点間を結ぶ交通サービスを充実することが重要である。
- ・ 土砂災害のおそれのある区域においては、土砂災害警戒区域の指定や、安全な区域へ居住機能を誘導していくことが重要である。

立地適正化計画の意義と役割  
～コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進～

土砂災害ハザードマップ(八王子市戸吹町地区)



出典：八王子市  
土砂災害ハザードマップ

出典：国土交通省HP

# 緑と水を編み込んだ都市づくり

(6) 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築  
(緑と水を編み込んだ都市づくり)(本編p.28～29)

- ・ 海外では、エコロジカル・ネットワークの形成など、広域的に自然を保全・再生する取組が進められている。
- ・ 生物多様性や地域古来の地形に配慮した都市開発などにより、都市空間の中に緑と水を編み込むことが重要である。

生き物の息空間に配慮した再開発事例

オランダのエコロジカル・ネットワーク

多様な生物を身近に感じる憩いの庭園を設置

- ▶ 地域の生物多様性の保全・回復を目的に、関東平野・荒川流域の生態系をモデルとして整備し、鳥や昆虫が飛来し、休息できるように、花や実のなる植物を導入するとともに、荒川流域に生息する在来の魚を池に放流
- ▶ 関東南部の在来種であるタブノキ林や自然と共生した雑木林を創出するとともに、荒川流域の水草、水底の泥を移植

【出典】 塚川キャザリアホームページ、株式会社フジクラホームページ



出典：緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～(平成24年5月/東京都)

図 国家エコロジカル・ネットワークの全体構想  
出典：Limnische van Landbouw, Natuur en Voedselwett (2002.1), Structuurschema Groene Ruimte 2-Samen werken aan een groen Nederland

都市再生に合わせた緑空間の整備  
(千代田区 大手町の森)

クツワムシ



出典：東京都資料

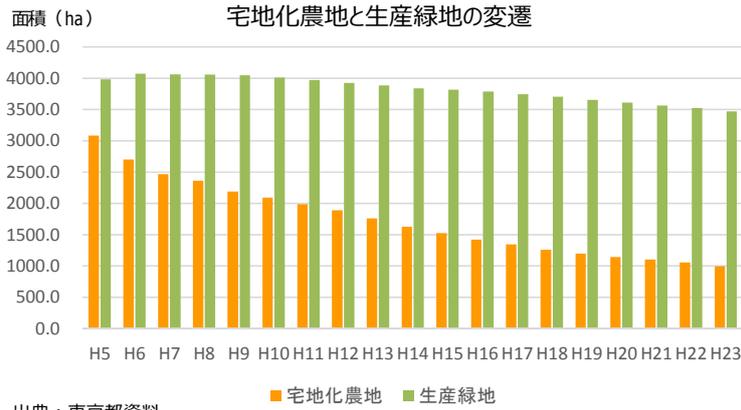
- 中核となる自然地区(直訳は「自然核」)
- その他のNEN
- 大湖や海などの大規模水域
- 堅固なコリドー
- 検討中の堅固なコリドー
- 代替コリドー
- 陸地と水域とのコリドー

新オランダ水防衛線とアムステルダム防衛線(世界遺産)

出典：エコロジカル・ネットワークの形成を通じた自然の保全・再生について  
(平成18年8月/国土交通省)

出典：ECOZZERIA 大丸有サステイナブルポータル

- 都市における農地の面積は年々減少してきている。
- 都市農地を市民農園など地域コミュニティのために活用している事例や、道の駅などに農作物の直売施設を設置するなどの事例も見られる。
- 今後の都市づくりにおいては、都市農地を最大限保全するとともに、様々な機会を捉え、積極的に農空間を創出し、活用を進めていくことが重要である。



農園レストラン「みやもとファーム」  
(練馬区)



出典：東京都資料

世田谷区砧クラインガルデン  
(世田谷区)



出典：東京都資料

三芳パーキングエリア  
(関越自動車道)



出典：NEXCO東日本HP

道の駅における農作物直売所  
(八王子市)



出典：八王子市HP

都立野山北・六道山公園  
(武蔵村山市)



出典：東京都資料

## 「(仮)自然環境共生域」の地域資源

(6) 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築  
(「(仮)自然環境共生域」の魅力の発信)(本編p.29~30)

- 東京には、自然を生かしたレジャーやスポーツが盛んな地域や、温泉などの多様な地域資源を有する地域が数多く存在している。
- 今後は、豊かな自然環境の保全を図りつつ、その魅力を環境教育などを通じて国内外へ発信していくことが重要である。

伊豆大島のトレッキング



出典：東京都資料

神津島のトレッキング



出典：東京都資料

新島 サーフィン



出典：東京都資料

三宅島のバイクレース



出典：東京都資料

あきる野市は平成17年に「観光産業振興」と「地域資源である木質資源の活用」を柱としたバイオスタウン構想を策定。温泉施設ではバイオマスボイラーが使用されている。



瀬音の湯 (あきる野市)

ヘリウム20風圧ハーマチック方式20kg 圧木質バイオマスの反付着に強い熱交換器と設計者のデンマーク工大のカルセン教授



※ これらの設備の活用により、年間約1,200kgのCO2の削減が可能となる。



出典：あきる野市のバイオスタウン構想の現状と課題  
(平成21年/あきる野市地域産業推進室)

八丈島の玉石垣



出典：東京都資料

大島の椿林



出典：東京都資料

小笠原母島のメグロ



出典：東京都資料

# 文化資源の状況

- 東京には、美術館や劇場・ホール、日本庭園や芸術系大学等、数多くの文化資源が存在している。
- 個別の芸術・文化施設の整備や利用促進だけでなく、施設の集積効果を高める「回遊性の創出」を図っていくことが重要である。

## 文化資源の分布



出典：東京文化ビジョン（平成27年3月/東京都）

# 東京2020大会の新規恒久施設等について(1)

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、臨海部を中心に新規恒久施設の整備や後利用の検討が進められている。

## 大会後の施設利用イメージ

### 有明アリーナ

国際大会を含むスポーツ大会や各種イベントなどに利用できる、新たなスポーツ・文化の拠点となる施設としていく。

- 国際・国内競技大会の会場
- 都民の様々なスポーツ利用
- 各種イベント等の会場
- 多様なニーズに応える館内空間
- コミュニティの場として活用

### オリンピックアクアティクスセンター

世界的な大会等が開催される国際水泳場として、また、都民も利用できる水泳場として活用していく。

- 国際・国内競技大会の会場
- 都民が利用できる水泳場
- 様々なスポーツ利用
- 大会運営諸室を活用した様々な利用
- 都民の憩いの場

### アーチェリー会場(夢の島公園)

アーチェリーを中心に、都民・公園利用者に対し様々なスポーツの機会を提供していく。

- 主要な競技大会の会場
- アーチェリーの普及・強化の拠点として活用
- アーチェリーを中心としながら、多様な活用

### 大井ホッケー競技場

都内有数の多目的人工芝競技場として、ホッケーその他の競技の拠点とする。

- ホッケーの振興拠点
- 各種競技の普及・強化の拠点
- スポーツ施設と公園機能が融合した「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」
- 都民の様々なスポーツ利用

### 海の森水上競技場

国際大会が開催できるボート・カヌーの競技場及び育成・強化の拠点とするほか、多目的な水面利用を図り、都民のレクリエーションの場、憩いの場としていく。

- 国際・国内競技大会の会場
- ボート・カヌー等の競技力強化・指導者育成の拠点
- スポーツ教育・環境教育の場
- 総合的なスポーツ利用
- 都民のレジャー・レクリエーションの場

### カヌー・スラローム会場

カヌーのスラローム会場を利用して、ラフティング等も楽しめる、周辺の公園や水域と一体となったレジャー・レクリエーション施設としていく。

- 様々なウォータースポーツが楽しめるレジャー・レクリエーションの場
- 国際・国内競技大会の会場
- カヌー・スラローム等の競技力強化、普及などの拠点
- 都民の様々なスポーツ利用
- 施設周辺と一体となったにぎわいの拠点
- 施設特性を生かした多目的な活用

- ・ 競技施設に隣接する公園をはじめとした地域資源や、周辺のまちづくりとの連携を進め、面的に広がりのあるレガシーを形成していくことが重要である。
- ・ 臨海部への定常的なにぎわい機能の導入や競技施設の利便性の向上に資する道路・BRT・舟運などのネットワークを充実していくことが重要である。

### 周辺施設との連携のイメージ



出典：「新規恒久施設の施設運営計画～中間のまとめ～」  
(平成28年5月/東京都オリンピック・パラリンピック準備局)

### 臨海部の交通網整備計画



## 「公共空間」やユニークベニューなどの取組

(7) 芸術・文化・スポーツによる都市の新たな魅力の創出  
(新たな魅力創出の場となる「公共空間」の活用/観光都市づくりの推進)(本編p.31～32)

- ・ 国家戦略特区や運河ルネサンス等の制度を活用し、道路や運河などの公共空間をにぎわいの場として活用する取組が始められている。
- ・ 諸外国において、多様な地域資源を生かし、MICE機能の強化やユニークベニューの促進を意識した取組が進められている。

### 公共空間を民間管理する事例(アメリカ・ニューヨーク)



交通量の少ない道路を広場化し、地域管理にする事業を行う  
(ニューヨーク市交通局プラザ・プログラム)

出典：「第4回都市づくり調査特別委員会」  
(平成28年1月) 保井委員提出資料から抜粋

### 運河ルネサンスによる水上ラウンジの取組(品川区 天王洲)



出典：東京都資料

### ロンドン自然史博物館のディナーイベント

BEFORE



セントラルホール (通常時)

AFTER



セントラルホール (ディナーイベント時)

出典：ユニークベニューハンドブック(観光庁)